

区分・種別	特別天然記念物		
名 称	やかま おうけつぐん 八釜の甕穴群		
所 在 地	上浮穴郡久万高原町柳井川		
所 有 者	国	管 理 団 体	久万高原町
指定年月日	昭和9年5月1日 国 昭和27年3月29日 特天		
	落出から^{によどがわ}仁淀川の支流黒川を約6kmさかのぼった地点に八釜^{おうけつ}の甕穴群がある。国道440号からV字谷の斜面に沿って、遊歩道を下ると谷底に達する。 河床の堅いフリント質角岩（チャート）が、渦流によってうがたれてできた甕穴で、川幅25m、長さ65mの間に30数個形成されている。このうち最大のもは直径12mにも達している。このような大規模な甕穴は地質学上全国的にも珍しく、貴重な資料である。 黒川の水位の変化に伴う流路変更の結果、5群の甕穴群が存在しており、そのうちの1群が川の左岸に沿って8個一列をなしている。「八釜」の名はこれから来たものともいわれている。 黒川流域一帯は、通称柳谷キャニオンと呼ばれ、大野ヶ原などとともに四国カルスト県立自然公園の一部をなしている。		

